

透析患者に楽しい食事を

大府市の至学館大3年生7人が、腎臓病などで人工透析を受ける患者向けの献立を競う「バイエル・レシピコンテスト」の教育部門で佳作を受賞した。7人は「病院などの管理栄養士を目指して勉強しているので自信になった」と喜んでいる。(出口有紀)



⑬献立の写真を見て入賞を喜び合う井上教授⑭と学生たち—大府市の至学館大で ⑮佳作を受賞した献立(同大提供)



大阪市のバイエル薬品が二〇〇八年から、塩分、水分の制限がある透析患者も楽しめる献立を提案するため開催。栄養士志望の学生が対象の教

至学館大生の献立受賞

薬品会社の「栄養士志望、自信に」コンテスト

と話した。卒業研究にも生かしたい」と話した。

育部門には四十二点の応募があった。七人は臨床栄養学のゼミに所属。井上啓子教授の勧めで「ひな祭り」をテーマに三種の献立を応募した。

佳作はグランプリ、準グランプリに次ぐ。春らしく盛り付けたサラダ風のちらしずしと野菜の天ぷら、サイターで作ったゼリーで、タンパク質が限られる患者用の食事は少量になりがちだが、すしにマグロの切り身を花のように盛り付け、ボリユーム感を出した。

ゼミ長の中村由花さん(三)は「初めて透析患者の食事を形にできた。卒業研究にも生かしたい」と話した。

知多版



玉ねぎ1
稲垣 英哉
水彩協会所属

ニュース、情報は下記へ
社会部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

半田支局 〒475-0903
半田市出口町1-45-18
0569-21-0021 Fax23-2372
中部空港支局 〒479-0881
常滑市セントレア1-1
0569-38-1310 Fax38-1311
東海通信局
0562-32-0240 Fax33-5065
大府通信局
0562-46-2668 Fax46-6833
常滑通信局
0569-35-2248 Fax36-0040
内海通信部
0569-62-0055 Fax64-0005

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp